



越路 10月 (No.115)

発行/越路町役場 (新潟県三島郡越路町) TEL越路 (02589) 2-3111 ■印刷/大川印刷所



岩塚保育所完成

元気な子どもたちの声が聞こえてきます。乳児をふくめ百名で十月一日から開所しました。
昭和四十六年から始めた保育所整備計画も今年で終り、町内に認可保育所四か所、へき地保育所二か所開設しています。
将来をにう元気な子どもに育っていただきます。

今月の主な内容

- ▼八百名が出席した町敬老会
- ▼東京の疎開っ子三十年ぶりに思い出話
- ▼ガス器具調整に伺います
- ▼あなたは納め忘れていませんか国民年金を
- ▼越路町総合計画基本構想のあらまし
- ▼赤い羽根募金にご協力を

町の人口

住民基本台帳人口 (8月末日現在)

世帯数	3,042戸	前月比	0
人口	13,686人		+20
内 男	6,659人		+12
内 女	7,027人		+8



1 大安 火	三種 越路分校	17 大安 木	インフルエンザ1回目 (東谷小)
2 水	高令者教室 (役場)	18 金	三才児検診 (役場) インフルエンザ2回目 (塚小・岩田区)
3 木	狂犬病予防注射 (塚野山区、岩塚農協)	19 土	
4 友引 金	狂犬病予防注射 (岩野区、神谷区、役場)	20 友引 日	オリエンテーリング (越路原)
5 土		21 月	三種 (岩塚小)
6 日 減	町内職場野球	22 日 減	三種 (役場)
7 大安 月	生ワク (岩塚小)	23 大安 水	三才児検診 (岩田区)
8 火	生ワク (役場)	24 木	高令者教室 (役場) インフルエンザ2回目 (東谷小) 三才児検診 (塚野山区)
9 水	生ワク (塚山中)	25 金	三才児検診 (役場) 三種 (塚山小)
10 友引 木	高令者教室 (役場) 体育の日	26 友引 土	
11 金	インフルエンザ1回目 (塚山小・岩田区)	27 日	町美術展 (塚山小)
12 日 減	越路中学校15周年記念式	28 日 減	
13 大安 日	塚山小学校100周年記念式 町民将棋大会 (役場)	29 大安 火	インフルエンザ1回目 (浦区)
14 月		30 水	高令者教室 (役場) インフルエンザ1回目 (石津保育所)
15 火	行政・心配ごと合同相談日 (役場)	31 木	インフルエンザ1回目 (役場、小坂区)
16 日 減	高令者教室 (役場)	11月1日	心配ごと相談日 (役場)

10月 広報カレンダー

三種 三種混合予防接種

余白はメモにどうぞ

越路町

とき 十月十四日
ところ 岩塚小学校
錦鯉品評会

今月の納税

町民税 3期
国民健康保険料 4期
納入日 10月25日

第二回 オリエンテーリング
申込みは十月十一日まで
今年もオリエンテーリングを行います。参加希望者は次により申込みください。
○実施日時 十月二十日
○申込方法 四~五人のパーティーを組み、パーティー単位で、ハガキに責任者の住所氏名及び全員の年令、性別を記入してください。
○申込み先 役場教育委員会

行政相談は国の役所の仕事や国鉄、電々公社など国の監督を受けての仕事についての苦情などです。心配ごと相談は、医療費、生活問題、年金、身障者(児)などのさまざまな悩みごとです。相談については無料で、しかも秘密は守られております。

○申込み締切 十月十一日
十月十五日
行政・心配ごと
合同相談日

八百名が出席した 町敬老会



2本のつえをリヤカーに入れて会場へ

九月十五日の敬老の日に越路町から紫の座ぶとん、昭和四十九年四月一日で結婚五十年(金婚式)を迎えられた夫婦六組に知事から慶を一会場に招待する敬老会も今年で三回目となり、出席した老人は八百二十名でした。

七十五才以上の方々に贈られた祝菓「千歳」は四百五十六名、明治十六年九月二十二日から明治十七年九月二十一日までに生まれ、九十才になられた新保ヨセさん他四名の方に、知事か



飲みかわす酒の味もまたかくべつ

ガス器具の調整に伺います

第一次は十月三十一日まで

今回調整対象器具は、湯沸器や風呂釜を取付けてあるご家庭です。それ以外のご家庭については第二次調整期間で行います。調整日は、別にご通知いたしますのでご協力をお願いします。

○お留守になる場合は、ご近所にお願ひしてください。

○調整費はいただきません。

○調整員は町職員ならびに町ガス指定工事店等で行います。

第二次調整期間は十一月一日から二十日頃までです。

おもにストーブを対象とします。

(一)器具調整は部落毎に各家庭を訪問して実施します。むづかしいものはとりはづして供給所で調整します。

(二)調整日は区長さんをおして事前にお知らせしますから留守にしないようにしてください。

(三)古くなった器具で調整のできないものは、とりかえるようにしてください。

(四)ガスを手入使用时には、器具の手入をときどき行ない、空気の調節をしてください。

十一月一日からガスの熱量が、一万キロカロリーに変わります

料金改定は十一月一日から実施

供給熱量が九千キロカロリーから

祝の色紙が贈られるなど会場はお祝の拍手がやむことなくつづいていました。

式典のあとは、小学生の合唱、婦人会、青年会など総勢二百五十人による歌や踊があり、町から贈られた赤飯を食べたり、酒を飲みかわしなごやかな一日を過ごしていただきました。

いつまでも、いつまでも健康で楽しい老後を送ってください。



夫婦で米寿の祝を受けた酒井スイさん

30年ぶりに「思い出話」

「ヤアツ、しばらく」と顔を見合わせ、過ぎ去った三十年前をしのぶ葛飾区の新宿小学校集団疎開



胸に名札をつけ拍手で迎えられた東京っ子の元「学童」たち

九月十七日、葛飾区は、思い出深い越路町で、学童疎開三十周年記念式を町の協力を得て、越路小学校で開いたのです。三十年目の里帰り

の元「学童」たち。九月十七日、葛飾区は、思い出深い越路町で、学童疎開三十周年記念式を町の協力を得て、越路小学校で開いたのです。三十年目の里帰りの元「学童」たち。

それは忘れさられた感謝の気持ち「ありがとう」のひと言を当時お世話になった宿舎の人達に伝えたいと立派になって帰ってきました。

里帰りした七十数人は、昭和十九年五月、三年生から六年生の約二百人が来迎寺、塚山の両小学校にわかれ終戦まで疎開し、苦楽を共にしたのです。東京が恋しく、ふとんの中で泣いた少年、少女も今では四十才前後。なれない畑仕事や雪道での登校と、つきぬ思いで話しを出席した同級生や宿舎の人達と語り合っていました。

記念式終了後来迎寺、塚山の両地区にわかれて一泊、歓迎のクラス会などを開き旧交を温めておりました。



歓迎の合唱をする越小の子どもたち

あなたは納め忘れていませんか

生かされています

国民年金保険料

国民年金保険料の納め忘れはありませんか。年金保険料は納期限までに必ず納めなければならぬことになっております。

この年金保険料を納期限までに納めていざと、けがをしたりご主人が万一亡くなられたりしたときなどに、障害年金や母子年金が受けられない場合があります。事故がおきてからあわてて保険料を納めても間に合いません。このように納められないように、保険料は必ず納期限までに納めるようお願いいたします。あなたの老後の積立金は、年金として使われる

料金は1ヶ月につき次のとおりです

使用量区画	単位	早収料金	遅収料金
最初の4㎡まで	最低料金	168円98銭	177円12銭
4㎡をこえ22㎡まで	1㎡につき	10円10銭	12円10銭
22㎡をこえ15㎡まで	〃	37円98銭	39円87銭
15㎡をこえ90㎡まで	〃	35円87銭	37円66銭
90㎡をこえ225㎡まで	〃	33円76銭	35円14銭
225㎡をこえるもの	〃	28円70銭	30円13銭

までの間、還元融資として、学校保育所、福祉センター、体育館、プールなど公共施設の建設資金として貸し出されております。

この融資は、みなさんの保険料の納め方も条件として含まれております。保険料を納めない人が多かったりすると、うけられない場合もあります。

保険料は、あまりためてしまうと金額がかさんで納めにくくなります。日頃から納期限までにきちんと納めるよう心がけてください。また、過去に時効により納められなかった未納保険料は、保険料特例納付の制度が来年十二月末適用されますので、この期間中に未納または、法免、申免等の追納保険料を納付されますよう、お願いいたします。

長岡厚生年金の集い

とき 十月十五日

午後一時～四時半

ところ 長岡市立劇場

入場無料(自由にお入りください。)

一部 大会

二部 記念講演

「ボケない頭の使い方」

三部 アトラクション

奇術・浪曲・落語

声帯模写

主催 新潟県民生部保険課

長岡社会保険事務所

越路町総合計画

基本構想のあらまし

施策の大綱(その三)

施策の大綱について教育文化の向上、産業の振興(農業、林業)について記述する。

教育文化の向上

幼児教育

保育所設置計画は基礎集落圏を単位として良好に進んでいる。幼稚園の設置は常設保育所と関連を調整しながら検討し小学校入学者の全員が幼児教育の機会に恵まれることを前提として構想する。

学校教育

義務教育については将来の児童生徒数や生活圏整備の方向に適合した小中学校の適正規模化と適正配置をすすめ、学校施設の充実と教材教具の整備を図る。特殊教育については各学校に特殊学級が併設されているが今後保護者の理解を得て教育福祉の両面から施設が要求されるが基本的には広域的施策に待つこととし、長

社会教育

社会教育活動の根幹となり総合的機能を發揮できる施設として総合福祉センター(社会福祉活動を含む)を建設し、第一次生活圏ごとに圏域の実情に即し連携活動ができるサブセンターを建設し整備充実を図る。社会体育を振興するため体育館総合グラウンド、水泳プール、スキー場等を建設整備する。なお当面の対策として学校施設の一般への利用を図る。芸術、文化活動、文化財保護について強力に推進する。

産業の振興

農業

農業をめぐる課題は、国、県の施策の方向をみきわめ近代農業としての体質改善を促進しなければならぬ。当町は農振法に基づいて農業振興計画を樹て昭和四十八年度に農振地域の指定をうけ施策の実施に入っており、米の生産を軸としながら、食生活の変化に伴う米食の減少に対し畜産物、野菜、果物等が量的に要求されてきており、今後ますますその傾向は強まり交通通信網の整備により産地間競争は激化し、有能な若年労働力の不足に加え不安定な経営構造、長期出稼や不安定な兼業依存など体質的に多くの問題をかかえておりさらに関連高速自動車道、長岡インターの周辺地としての動向、国県道の要望、宅地及び工業用地の造成整備等の開発が目前に迫っており、これらの情勢をふまえ農業振興を構想するものである。農業開発の基本方針として、米の生産を主軸とし、野菜、園芸、畜産等の供給基地とし、経営及び生産の組織化を図り、農業の零細性打破のための体質改善をすすめ有能な農業経営者の育成及び近代流通体系の確立を推進する。このため、経営構造の改善を図り

高効率の技術体系を推進し、経営規模の拡大による自立経営農家と兼業農家を含む集团的生産組織の育成を図り、経営に適合した大型機械導入による省力化を図る。又圃場、灌排水、農道等の基盤整備を推進する。このような複雑多岐にわたる農業問題の推進開発母体としての農業協同組合の果たす役割は大きく、このため農業協同組合の一本化を促進する。

林業

森林面積は全町の半分以上を占めており、植林もかなりの実績をあげている。この植林を一層推進し林産物の生産を高めるとともに水源かん養林、防災林としての公益的機能の充実を促進する。

あなたの家の戸じまりは

浦部落の防犯診断

浦部落の防犯診断

越路防犯組合では、去る八月二十八日夜、浦部落のうち約二百五十戸を対象に、防犯診断を実施しました。この防犯診断は、警察官六名のほか部落の防犯連絡所の人たちが参加し、夜十時過ぎから各戸を訪問、戸締りの状況や、自動車のドアの錠かけ、自転車の放置等について調査し、結果を家人に知らせ防犯に対する注意を呼びかけました。その結果を集計すると次のとおりです。お宅の戸じまりはいかがでしょう?

◎住宅	表出入口	勝手口	障子	その他出入口
鍵をかけたもの	29	24	26	21
鍵をかけたもの	10	2	0	1

◎自動車、バイク	自動車	バイク
ドアの鍵をかけたもの	35	—
窓隙子を開放したまゝのもの	2	—
エンジンキーをつけたまゝのもの	20	2

「赤い羽根」募金にご協力を

赤い羽根で親しまれてる共同募金運動が十月一日から全国一斉に開始されます。この運動によって集められたお金はお気の毒な人々を援助

し施設をよくし、又地域住民の福祉活動を増進するものに使われるものです。町においてもこの趣旨に基づき部落区長さんを通じてお願いしますのでご協力ください。

秋の公民館事業

スポーツ、文化のシーズンを迎えました。秋の公民館事業が次のとおり行われます。多数参加ください。

- 十月六日 町内職場野球
- 十月十三日 町民将棋大会
- 十月二十日 オリエンテーリング大会
- 十月二十七日 町美術展
- 十一月三日 町民駅伝大会
- 十一月三日 菊花展
- 十一月十日 謡曲大会

十一月十日 町民囲碁大会
町民駅伝大会参加申込みは十月二十五日までです。(二チーム九名)
町美術展作品募集
種目 日本画、洋画、書道、写真で一人二点以内で小学生以下を除く。申込み 既発表作品でも可、ただし入選対象にならない。十月二十日迄に申し込みください。
町美術展作品募集

町教育委員会

くわしくは教育委員会へお問い合わせください。

役場職員辞令

十月一日付 (一) 内旧所属

- △資産税係長 内山清(企画調整室主任)
- △年金係長 佐藤豊栄(昇格)
- △総務課主任 丸山昌平(昇格)
- △企画調整室 田村朗(総務)
- △小国町、越路町水道企業団出向 青山弘幸(新採用)
- △立保保育所勤務 横純子(石津)
- △塚山保育所 主任五十嵐ミチ(来迎寺)
- △重野幸恵(岩田)
- △岩塚保育所 主任田中潤(塚山)
- △田中春美(児童館)
- △内山恭子(来迎寺)
- △田中勝江(児童館)
- △宮沢ユウ子(岩田)
- △調理師(新採用)
- △石津保育所 主任広川富子(浦)

浦村庄屋 清水に祈願

浦部落の上村と来迎寺部落の道とを結ぶ町道を、昔から「大道」と呼んでいる。その大道を西に出ると、右手北側に、自然石そのままの小さな米山塔が建てられている。そしてまた、その脇に清水が湧き出ており、二尺ばかりの井戸側が伏せられている。

以来この清水は、通行人や農民の野良仕事での喉をうるおし、そのうえ、お茶に合うということで茶人にも重



信仰と米山塔 (4)

文久三年(一八六三)の「浦村温古録」に、「……当村清水中ノ第一等トス、嘉永ノ度大平与平ヨリ此清水ノ傍ラニ米山塔ヲ建、清水ヲ石筒ニ引キ……、以来米山清水ト称ス。」と記されている。以来この清水は、通行人や農民の野良仕事での喉をうるおし、そのうえ、お茶に合うということで茶人にも重

